



<取材のお願い>

2023年12月4日
苫小牧工業高等専門学校
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
さくらサイエンスプログラム推進本部

モンゴルの学生が苫小牧高専で日本の高専教育を体験 ～グローバル技術者を目指して日本の先端技術を学ぶ～

苫小牧工業高等専門学校では、12月10日（日）～12月15日（金）、モンゴルの3高専（モンゴル工業技術大学附属高専、新モンゴル学園高専、モンゴル科学技術大学附属高専）から、学生9名、引率教員1名、計10名を招へいし、日本の高専教育や先端技術を通してグローバル技術者を養成する科学技術体験プログラムを実施します。

モンゴル政府は、技術者の養成などを目的に1990年代から多くの若者を日本に留学させ、その若者たちは帰国後に国をリードする人材として活躍するようになりました。そして、日本留学経験者を中心に、実践的な技術者養成実績のある「日本式高専システム」を導入しようとする機運がモンゴル・日本双方で高まり、2014年に上記の3高専が開校しました。3高専では2019年に初の卒業生を送り出し、これまでに合計約400名が卒業しています。卒業後はモンゴルだけでなく、日本の企業に就職したり、日本の大学に進学したりしています。

本プログラムは、技術者を指すモンゴルの学生と本校学生に授業や実験実習などを介して交流の場を提供し、科学技術に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

具体的には、本校学生とモンゴルの学生が共同で実験実習を行い、日本独自の高専教育の特徴である「実験を重視した実践的ものづくり」を体験します。本校学生とモンゴルの学生が共同作業やディスカッションを通して互いの考え方を知ること、グローバル感覚を養います。さらに、物流港湾である苫小牧港や、苫小牧市近郊の工場では最新技術によるものづくりの現場を視察します。また、北海道神宮（札幌市）やエスコンフィールド HOKKAIDO（北広島市）で日本の建築技術を学びます。そして、札幌市内ではまちづくりを見学します。モンゴル・ウランバートル市は都市計画に基づいたまちづくりがなされていないため、防寒性も考慮した地下街や、交通渋滞を考慮した地下鉄、碁盤の目に沿った札幌のまちづくり等を学ぶことで、自国の将来のまちづくりに技術者として何をすべきかを考えます。

また、本校学生と共に校内体育大会や書道部等の部活動に参加し、日本文化を体験する時間も設けました。本プログラムを通じて、学生間のグローバルな交流関係構築の促進が期待できます。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。



*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、モンゴルの学生らが苫小牧高専で授業を受ける様子、実験を行う様子、苫小牧市内の企業で先端技術を見学する様子、成果発表会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の平野博人副校長へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】 ●苫小牧高専で授業・実験の体験 ●苫小牧市内企業見学
●苫小牧港見学 ●伝統的建築物および最先端建築物の見学
●都市計画に基づくまちづくりの見学 ●成果発表会

【実施場所】 苫小牧工業高等専門学校、苫小牧港、株式会社タナカコンサルタント、
エスコンフィールド HOKKAIDO、北海道神宮、札幌市内

【研修日程概要】

12月10日(日)	午前：来日 午後：苫小牧着
12月11日(月)	午前：オリエンテーション、ウトナイ湖野生鳥獣保護センター、苫小牧港見学 午後：苫小牧市内企業見学（タナカコンサルタント）
12月12日(火)	午前：校内の冬季体育大会見学・参加（苫小牧高専）、最先端建築物の見学（エスコンフィールド HOKKAIDO） 午後：伝統的建築物の見学（北海道神宮）、都市計画に基づくまちづくりの見学（大倉山展望台、札幌市地下鉄等）
12月13日(水)	終日：専門系授業・実験・創造工学 II/III 体験（本校の実験指導書を利用した専門系の講義・実験・結果のまとめ作成）（苫小牧高専）
12月14日(木)	午前：専門系授業・実験・創造工学 I 体験（本校の実験指導書を利用した専門系の講義・実験・結果のまとめ作成）（苫小牧高専） 午後：まとめと成果発表会、意見交換会、修了証書授与（同上）
12月15日(金)	離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

苫小牧工業高等専門学校
（担当：大西）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ
JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form（担当：田中(禎)、太田）